命を守り　丈夫な体と　人間らしい感性を育てる

Nadeshiko

なでしこ保育園
第二なでしこ保育園
第三なでしこ保育園

https://kodomo.ed.jp/

なでしこ保育園

子育て支援センター
パーシモン

放課後等ディサービス
なでしこ

第二なでしこ保育園

なでしこ家庭保育室
わらべ

第三なでしこ保育園

子育て支援センター
すずかけ

すずかけ相談室
ふらっと

地域の子育て力をみんなでアップしましょう!

NPO法人なでしこ保育研究所

保育に関する研修や研究をしています！

「どんな子どもを育てていくのか」。

時代の移り変わりの中で育つ子どもたちの姿、その背景にある保護者の様子を見ながら、日々子どもたちとかかわる保育の現場は、社会の中で非常に重要な役割を託されています。「今の保育で良いのか」を常に考え、確認しながら、これまで保育に携わってまいりました。

乳幼児期は「感性」の土台作りとして大切な時間です。身体感覚も欲求や感情も、すべての感性は、幼い時から子どもが大切にされ、おとなとの応答的な相互作用を幾重にも積み重ねる中で育まれます。感性は将来、その子の人間らしい感性、すなわち「人間性」になります。

私たちは、子どもの持っている力を伸ばすためには、特定の人との愛着関係の上に「他者を、自分を信じる心」を育てなくてはならないと肌で感じています。それは現在の保育園に課せられた使命の一つ、といっても過言ではないかもしれません。

なでしこ保育園では、０・１・２歳児（未満児）クラスの保育を「かわいがり保育」、年少・年中・年長（以上児）クラスの保育を「よりそい保育」と呼んでいます。

「かわいがり保育」では、一人一人の子どもに１対１で向き合い、甘えを受容し、自己主張を認めます。これによって、自分の存在を確認し、自分を受け入れてくれる人がいるという安心感から「他者を信じる心」が育まれると信じています。

「よりそい保育」では、子どもの好奇心と挑戦を尊重し、おとなの共感的な支援と励ましを数多く積み重ねることを繰り返します。これによって、挫折や不満、悔しさを抱えながらもそれを乗り越えることのできる「自分を信じる心」が育まれるものと信じています。

社会福祉法人なでしこ会　理事長　門倉文子

よりそい保育／はじめに』より抜粋

わたくしたちの法人内には３つの保育園とひとつの家庭保育室、ふたつの地域子育て支援拠点（利用者支援含む）、放課後等ディサービス事業所、保育研究所があります。末長くお付き合いできるご縁をいただけましたら嬉しく思います。

社会福祉法人なでしこ会　理事長　門倉文子
代表（048）521-5698

なでしこ保育園
園長　門倉文子
〒360-0803
熊谷市柿沼 921 - 9
☎ 048-521-5698
FAX 048-524-0822

第二なでしこ保育園
園長　大谷光代
〒360-0803
熊谷市柿沼 955 - 2
☎ 048-525-3761
FAX 048-524-7811

第三なでしこ保育園
園長　高田美華
〒360-0813
熊谷市 円光 2-10-10
☎ 048-520-6112
FAX 048-526-6720

【社会福祉法人なでしこ会　沿革】

昭和３９年　４月　なでしこ保育園開園
　　１２月　社会福祉法人なでしこ会設立認可
昭和４０年　１月　定員６０名として認可
昭和４４年　４月　定員９０名に増員
昭和５０年　９月　定員１２０名に増員
昭和５４年　４月　第二なでしこ保育園開園（定員１２０名）
平成　２年　４月　なでしこ保育園改築
平成１０年　４月　第三なでしこ保育園開園（定員６０名）
　　（一時預かり室・子育て支援センターすずかけ併設）
平成１４年　４月　第二なでしこ保育園　定員１５０名に増員
平成２１年　４月　なでしこ保育園定員増に伴う増築園舎竣工
　　（なでしこ文庫・子育て支援センターパーシモン併設）
　　なでしこ保育園　定員１５０名に増員
平成２４年１２月　NPO 法人なでしこ保育研究所設立
平成２６年　１月　なでしこ保育園開園５０周年記念式典開催
平成２７年１２月　なでしこ家庭保育室「わらべ」開室
　　１２月　社会福祉法人なでしこ会　評議員会設置
平成２９年１０月　第三なでしこ保育園子育て支援センターすずかけ内に
　　利用者支援事業「すずかけ相談室♭（ふらっと）」開設
平成３０年　３月　（株）大修館書店より「保育ハンドブック全３巻」上梓
平成３０年　７月　放課後等ディサービス「なでしこ」開所

なでしこ保育園　保育の方針

命を守り丈夫な体と人間らしい感性を育む

1. 安全に注意し食事・睡眠・清潔等、一人一人に即した養護を応答的に行うことで健やかな心と体を育み、命を守る基本とする
2. 甘えを十分受け止め、保育士との肌の触れ合いや応答的な関わりを通して情緒の安定をはかる（甘えなしに自立なし）
3. 乳児期からの保育の積み重ねにより育まれた基本的信頼感をもとに、非認知的な力が十分育つよう、子どもの自己選択を促していく
4. 言葉の獲得や運動機能等、子どもの発達過程には臨界期があるので発達に見合った活動ができる機会を増やす
5. 乳児期からの関わりによって育まれた基本的信頼感を土台に、身辺自立を通して意欲や自主性を伸ばし自信を持って行動できるようにする
6. 年齢や発達に見合った絵本を選び、読み聞かせを十分行う中で、想像力や生きる力を育てる
7. 思いを言葉で表現し、相手の言葉を聞こうとする気持ちを育てる
8. 規範能力や思考力の育つ時期なので、話を聞いて物事の良し悪しを判断し、自分で考えて行動できるようにする
9. 友達との関わりや遊び、行事などを通して楽しい経験をたくさんし、仲間とともに過ごす楽しさを味わい、人への信頼感や思いやりを育てる
10. 人には違いがあることを知り、障がいのある子への理解を深める。また色々な人と関わりながら、自分が人の役に立つことに喜びを感じられる感性を育む

育てたい子どもの姿

1　思いやりのある子
2　みんなと仲良く遊べる子
3　意欲のある子
4　話を聞ける子
5　自分の気持ちを伝えられる子
6　考えて行動できる子

なでしこの０・１・２歳児クラスの保育
「かわいがり保育」

「受容」からすべてが始まります

生まれ落ちた瞬間から、特定の大人が関心を持ち関わることが、その子の将来の育ちを末広がりに展開していく小さな芽となります。保育所保育においても同様に、一人一人の「気持ちを受け止める」ことこそ、子どもとの関係性の出発点だと思います。私たちの行っている０～２歳児の「かわいがり保育」は「受容」から全てが始まります。

「甘えさせること」は成長の大切な栄養素

保育所は集団保育ですが、私たちの保育の基本は「１対１」にあると考えています。特に、０～２歳児の時期に気持ちをしっかり「受け止め」「甘えさせる」ことの大切さは、時に誤解を生むこともありますが、多くの大人が今、もう一度考え直さねばならいことではないかと思います。

甘えさせることは、子どもをダメになどしません。それどころか、小さい頃に甘えを受け止めてもらえなかったことの方が、その後の育ちに大きな影を落とすことになりかねません。大人に優しく抱っこされ「人は優しいもの」と感じ、自分の発したこと、要求したことに応じてもらうと、赤ちゃんは人を信じることができるようになります。そして自分は大切な存在である、と感じられるようになります。子どもの理にかなわない言い分を受け入れることに対して、大人は「甘えている」「甘えはよくない」という印象を受けるのかもしれません。しかし、子どもはその理にかなわないことを「何としても聞いてほしい」のでしょうか。もしかしたらそれは「こっちを向いてほしい」と言っているのではないでしょうか。

甘えられて自分をさらけ出せる大人が保護者以外に存在すること。それが保育所の０～２歳児保育の意義であると、痛切に感じています。

①０歳児の姿

０歳児は全員が新入園児，初めての保育園であることが多いので，親子ともに不安を感じていますが，愛着関係がしっかり築けると，子どもの表情がやわらぎ，なんとも安らいだ顔つきになってきます。素直に甘えたり，自分の思ったまま感じたままを思い切り出してくるようになります。担当保育士にしか見せない表情，笑顔や甘え，後追い，日々の成長…。担当ならではの特権（まるで母親のような！）がたくさんあるのが０歳児です。

②大切にしたいかかわり・配慮

担当保育士が１対１で愛情をたっぷりと注ぎながら継続的にかかわり，愛着関係をしっかり築いていきます。全面受容を心がけ，担当制のもと，特定の保育士が日々かかわる中で，子ども自身も保育士のことを信頼し安心して甘えたり，感情豊かに表現するようになり，人とかかわる喜びや楽しみを味わえるようになってきます。

私たちは，愛着関係を築くために何よりも，肌と肌の触れ合い（スキンシップ）を大切にしています。おんぶや抱っこで肌と肌をくっつけ，快・不快を表現している時にすぐに応えてあげることで愛着関係の土台を築いていきます。保育士が表情豊かに接することも心がけています。

０歳児の保育では，子どもの発育発達の道筋を理解し，一人一人の発達をしっかりつかむことが不可欠です。そのうえで，その月齢に必要な経験が抜けないよう，担当者を中心に成長への仲立ちをしていきます。発育に心配な子がいる場合は，その子の発育の既往歴を把握し，そのことについて保護者がどう考えているのかを知り，支えていくという気持ちでかかわりましょう。

子どもと応答的にかかわり、愛着関係のもとで心の響きあいを積み重ねていくうちに、
目の前の子どもがかわいくてかわいくて、しかたなくなる。
そんな０・１・２歳児クラスの保育を、私たちは「かわいがり保育」と名付けました。

①１歳児の姿

１歳児は，活発に体を動かして盛んに探索活動を行う時期です。いろいろな物への興味関心が出てきて，新しい物を発見し，その感動したことを必死に伝えようとします。そして，つたえた相手から，共感してもらったり，認めてもらう過程でまて，表現する喜びが育まれていきます。特定のおとな(母親や保育士等)との愛着関係を基盤に，まわりの人たちとあたたかい交流をつうじて自我がめばえ，自己主張するようになります。子どもたちは「イヤ」「ダメ」を連発し，おとなからの働きかけを拒み，「ひとりで！」「じぶんで！」と挑戦を始めます。

②大切にしたいかかわり・配慮

この時期に私たちが大切にしているのは，依存と自立の葛藤が始まった子どもの甘えを受容つしつつ，自立心を認め，「じぶんで！」と主張した時は見守りながらさりげなく援助して満足感を味わわせたり，自分で選べる環境を作るなどの配慮です。また，言葉づかいは不十分ながらも，言葉でのやりとりが楽しくなるので，子どもの伝えたい思いをしっかり聞き，身振りによる表現を受け止めるなどしてコミュニケーションをとっていきます。うまくコミュニケーションがとれない子どもには，担当制を取り入れながら，まずは特定の保育士が子ども一人一人と深くかかわり，「自分は大切にされている」という安心感がもてるように，また，「人と一緒にいるって楽しいなぁ」という気持ちかめばえるかかわりを心がけます。

①２歳児の姿

自立へのスタートでもある２歳児は「ヤダ！」「自分で！！」といろいろな場面で自己主張し，思い通りにならないと怒ったり，できないことでも「自分でやりたい！」と主張します。ですが，その反面，まだまだ「抱っこして」「できないからやって」など，日によってできなくなったり、かかわるおとなをこまらせてりすることもしばしばです。また，相手の気持ちもわかるようになるので，友だちと遊ぶことに興味が出てきます。簡単な規則やルールもわかり始め，集団の中で社会性を身につけていく年齢でもあります。しかし，自分の思いがうまく伝えられずトラブルになる，手が出てしまうなどの姿も見られます。

②大切にしたいかかわり・配慮

２歳児に対しては，子どもたちの「自分でやろうとする意欲」を受容して見守りながら，できないところを手助けします。「自分でできた」という達成感や満足感を味わわせ，次のやる気につなげたり，子どもの甘えをしっかり受け止めて「自分は大切にされている」という安心感をもたせていきます。子どもの自己肯定感を育む，というかかわりかたや言葉かけを大切にします。
また，子どもたちの言葉をしっかり聞き，気持ちをくみ取りながら，ゆとりをもったかかわり方をする中で，集団で決まりごとや約束ごと，良いこと・悪いことの区別をしっかり教えていくことが必要な年齢なので，繰り返していねいに教えていきましょう。

『かわいがり保育』より抜粋　なでしこ保育研究所　2018（株）大修館書店

なでしこの年少・年中・年長児クラスの保育
「よりそい保育」

かわいがりからよりそいへ

０～２歳児クラスの「かわいがり保育」においては、子ども一人一人をじっくり知り、かかわることを大切にします。ですので、クラスや集団ということはひとまず蚊帳の外において考えます。

ところが年少になると、年相応の発達として「集団の中の一人として行動できる子ども」という視点が登場します。さらに年少以上は「クラス単位での成長」も、一つのものさしとして持つようになります。もちろん、子ども一人一人の成長は今まで通り大切な指標ですが、そこに集団として「この年齢児クラスはここまでがんばろう」という、クラスとしての目標が加わってきます。

①３歳児の姿

３歳児は，身のまわりのことを自分でやってみようとする姿が増え、依存から自立へ移行する時期です。基本的な運動能力が発達し，自分の体の動きをコントロールできるようになります。あいさつや生活に必要な言葉を使うようになり，知的好奇心も強くなります。なぜ？どうして？といった質問が多くなり，身近な人との言葉を使ったやりとりも上手になります。まだ平行遊びも見られますが，友だちとごっこ遊びを楽しめるようにもなってきます。自分の思いを通そうとするあまり，トラブルも増えますが決まりを守ろうとしたり，がまんしようとする姿も見られるようになります。

②大切にしたいかかわり・配慮

３歳児とかかわるうえで，大切にしたいのは，何でも手伝ってあげるのではなく，子どもの「やってみたい」という気持ちをあたたかく見守り，やり方のコツを教えたり，そっと手伝ったりなどして，「じぶんでできた！」という達成感を感じられるようにすることです。そして，次への意欲につなげていけるよう，子どもの思いに共感し，ほめ，ていねいにかかわっていくことを心がけます。また，自分で考えられるようにすることも大切です。先取りしてしまうのではなく，子ども自身が考えらえるような言葉がけをするようにします。

①４歳児の姿

４歳児は，社会性が身についたり身辺自立がほぼ確立して協調性が育ってくるようになります。自分の体をコントロールできるようになり，全身のバランスをとること，自分の意のままに体を動かすこともできるようになります。さらに，左右の協応運動が巧みになり，異なる２種以上の動きを同時にとれるようにもなります。自意識がめばえ，自分がどう見られているかを意識するようになり，人の気持ちを気にするようにもなります。友だちと一緒にいることを喜び，仲間とのつながりが深まる中で，けんかも多くなりますが，少しずつ気持ちを抑えることやがまん，葛藤も経験します。想像力が出てきて自分なりの目的をもって作ったり描いたりすること，友だちとイメージを共有してごっこ遊びを楽しめるようにもなります。

②大切にしたいかかわり・配慮

４歳児とかかわるうえで大切にしていることは，成長過程や姿を踏まえ，子どもたちとの信頼関係を築き，子どもたちが安心して生活できるようにしていくことです。そして，自分の気持ちを言葉で表現できるように，子どもによりそい共感していくことが大切です。また，保育士が工夫をして子どもが「おもしろい」と思えるきっかけ作りをし，子どもたちが主体的に活動に参加し，成功体験を積み重ねることで自信や意欲につなげていくようにします。

子どもの気持ちに共感することを基本に、子ども一人一人の状況に合わせて必要なサポートをし、主体的に考え行動できるようによりそっていく。
そんな年少・年中・年長児クラスの保育を、私たちは「よりそい保育」と名付けました。

①５歳児の姿

５歳児は，何事にも意欲的に取り組む姿勢が目立ち，能力的にも大きく育つ頃です。運動機能はますます発達し，仲間との活発な運動遊びを楽しみます。役割分担のもとでの共同遊びやごっこ遊びも大好きです。同じ目的・目標に向かって，集団で行動することを経験する中で，仲間の一人としての自覚や仲間を大切にする気持ちも育ってきます。けんかもしばしばありますが，その解決は自分たちで行おうとします。決まり(ルール)を守って遊べるようになりますが，口げんか等のトラブルも生じます。また，良いこと悪いことを自分で考え，判断する力が芽生えてきます。自分たちで解決しようとする姿も見られますが，保育士の仲立ちが必要な場面もあります。お手伝いやお当番など他人の役に立つことを喜ぶ姿も、はっきりと見られます。自分の思いや考えもうまく伝えられ，他人の言うことを聞く力もだんだん身についていきます。何でも知りたいという知識欲も旺盛になります。

②大切にしたいかかわり・配慮

５歳児とかかわるうえで大切にしていることは，こうした発達(育ち)が目立ってくるものの，個人差もあるので一人一人の発達の過程をしっかりと把握し，その時々の気持ちや行動などを受け止め，適切な声かけや援助をすることです。また，自分で考えて行動できる機会を増やし，自主性を育てる環境作りも大切です。そして子どものがんばりや良いところを認め，たくさんほめて次への意欲につなげるようにしています。

①６歳児の姿

６歳児は，思考力や認識力が豊かになり，文字や社会事象などへの関心が深まり集団の中で生活していく人間としての土台，自己肯定感が育つ時期です。運動機能が高まり，全身運動が滑らかで巧みになり，跳び箱や鉄棒，竹馬などを使った複雑な運動も意欲的に取り組むようになります。また，手指の操作も器用になり，編み物，こま回しなど，より細かい作業もできるようになったり，えんぴつや筆，箸などを３点支持で扱えるようになります。今までの体験から自信や予想，見通しをもつ力が育ち，自立心が高まり心身ともにエネルギーにあふれ，積極的に行動するようになります。仲間意識が強くなり，自分たちだけの秘密を共有したり，相手を思いやる気持ちも育ちます。また互いに自己主張をがまんしたり意見を調整して折り合いをつけていくことができるようになります。文字や数字，記号などにも興味関心をもち，時間の概念が育ってきます。また，語彙が豊かになり意思の疎通が問題なくはかれるようになってきます。

②大切にしたいかかわり・配慮

６歳児とかかわるうえで大切にしていることは，小学生や地域の人とのかかわりを通し，社会への興味関心を広げられるように工夫をすることです。また，就学に向けて期待感に胸を膨らませている子どもたちが小学校生活へスムーズに移行できるように，小学校の情報を子どもたちや保護者に伝えるなど，家庭と連携しながら日々ていねいにかかわっています。

『よりそい保育』より抜粋　なでしこ保育研究所　2018（株）大修館書店

【保育内容】

入園すると親から離れて園で長時間生活することになりますので、一人一人の気持ちを大切にし不安な気持ちを受け止めてやり、心の安定を図ることを第一に考え安心して楽しい園生活を過ごせるよう心がけています。乳幼児期の心の安定が人間として社会生活を送る為の基本と考えています。

『安全保育』

命を守るという使命をまず第一に考え、園舎内外の安全管理については十分注意を払っています。しかし子どもは発達に伴い活動も活発になるので、まったく危険のない生活を保障するのは難しいことです。職員全員で力を合わせ、事故やケガが最小限になるよう心がけていますが、防げない事故やケガもありますのでご理解下さい。

『健康管理』

①内科健診（年２回）、歯科健診、検尿を行っています。

②身体測定、視力検査、歯磨き指導など年齢に合わせて看護師が行っています。

③各園の看護師が園全体の健康・衛生管理の担当として、園医と連携をとりながら活動しています。

④病児保育は行っておりません。病後は、本人の健康状態を優先に考えて担任や看護師と連携をとりながら保育しています。

⑤お昼寝
０～年少児は年間を通して、年中児は前期（９月いっぱいで終了）、年長児は夏の間（子どもの状態を見て）昼寝をします。個人差もありますが長時間保育の中で体を休める時間を設けています。

『給食』

乳幼児期の食事は子どもにとって楽しみでもあり、咀嚼等を身に付ける大切な時期でもあります。また何といっても食生活は身体つくりの基礎ですので、食育には重きを置き保育を進めています。昼食とおやつは手作りで豊富なメニューが用意できるよう管理栄養士を中心に担当者で検討し毎月献立を作成し家庭へも配布しています。

〈０～１歳児〉

完全給食ですが、家庭と歩みを合わせながら一人一人の状況を鑑み、ミルク・離乳食を用意し普通食へと移行していきます。おやつは午前と午後の２回用意します。

〈２歳児〉

完全給食で、おやつは午前と午後の２回用意します。

〈年少・年中・年長児〉

完全給食で、おやつは午後 1 回用意します。
給食費を集金いたします。
（月額主食費 2,000 円、副食費 4,500 円）

『絵本と保育』

～「読み合い」から「読み聞かせ」へ～

活動や気持ちを切り替える時、園では絵本を多く使っています。絵本を使ってコミュニケーションを取り合う「読み合い」の経験を積み重ねていくと、子どもたちは大人に絵本を「読み聞かせ」てくれるようになります。なでしこ保育園パーシモンには「なでしこ文庫」があり、６月～２月の間、園児への貸し出しを毎週火曜に年少以上のクラス役員さんに手伝ってもらいながら行っています。この他に家庭でも絵本を楽しんでいただく為に（株）福音館の月刊誌をご購読いただいています。なでしこの図書活動を通して、大好きな大人が読んでくれる絵本が子どもに与える力を感じていただけたら嬉しく思います。

＊なでしこ文庫開館時間

〈月～金〉15：00～17：30〈土〉9：00～15：00

『遊び』

遊びは子どもの生活の大切な一部であり、学びの中心です。大人との応答的な関わりを十分受けることが集団の中で十分楽しんで友達と遊べる力の基礎となります。
満足するまで遊べる子どもにしたいと考えています。

☆０～２歳児

天気の良い日は戸外へ出て、砂・水遊びの経験をたくさんさせ、散歩を通して足腰を鍛え、しっかり歩けること・走れることができるようにしています。クラスには手作りの物をはじめ積み木やブロック等いつでも遊べるようにしてあります。

☆年少以上児

朝登園してからの時間を自由遊びの時間として、特に外遊びを中心に毎日活動を行っています。また室内でもじっくり遊べるよう玩具を充実させ、空いた時間は自分の興味のある遊びに取り組めるようにしています。

『規範能力の育成』

幼児期に物事の善悪を身につけさせることは、人間として大切なことです。生活や遊びの中でやってはいけないことを丁寧に教えていきたいと考えています。家庭でも特に心がけて頂きたいところです。

『生活習慣の自立』《しつけ》

自分で何でもしたがる時期をとらえ、大人が手を添えて自分のことが自分でできるようにしていくのが上手なしつけです。子どもの発達に応じ、園と家庭との連絡を密にし少しずつ自立できるよう細かな支援をしていきます。

『体力づくり』

《体操教室：年少～年長児　ボール投げ：年長児》

身体づくりの基礎となる乳幼児期に身近な大人やお友達と楽しく体を動かし、転んだ時に咄嗟に手をつくことができる・危険な時にサッと避けることができる等「自分の身体を自分で守れる力」・「体幹や足腰をしっかりさせ、身体がふらつかない力」を身に付けていけるよう、基本となる６つの運動（ハイハイ、高這い、ぶらさがり、両足ジャンプ、かえるジャンプ、雑巾がけ）を日々の保育の中で取り組んでいます。取り組み始めてから体幹や足腰がしっかりし、転ぶことが少なくなりました。

園庭にあるブランコ、すべり台、鉄棒、うんてい、のぼり棒などの固定遊具の経験をはじめとし、散歩、駆け足、プール遊び、ボール遊び、縄跳び、マット運動、リズム運動等の活動を通して、がんばりのきく丈夫な身体を育みたいと考えています。

『表現活動』

①音楽リズム

幼児期は様々な感覚が分化し発達する時期です。乳児の頃から園生活の中でも音楽に合わせ身体を動かしたり、歌を歌うことを楽しんでいきます。特に耳の発達は４歳ですばらしく伸びると言われていますので、４歳を迎える年少からは外部講師（杉山由美子先生）を招き、音楽と身体を連動させる表現などを楽しみます。また年中からは鍵盤ハーモニカに取り組んでいます。楽しみながら指使い等も覚え、簡単な曲が弾けるようになり、クラスで音を合わせる楽しみも味わっていきます。年長の和太鼓や生活発表会での表現発表は、友達と音を合わせることで生まれる感動を皆で共有することも目的のひとつと考えています。

②造形活動

「感じたこと、考えたことを自分なりにイメージして、ダイナミックに表現することを楽しむ」ことを基本として０歳児から取り組んでいます。子どもが自分なりの世界を広げられるような「きっかけ」を保育士が作り、子どもたちが表現を楽しめるようにしていきます。

紙の上の２次元の世界に３次元の空間を感じて絵として表現できたり、頭の中の形を目の前の粘土で再現できたら、その子は言葉以外の言語を持つことに等しい力を持てるかもしれません。子どもの可能性を広げるためにどの年齢でも発達に応じた造形活動を行っていきます。

『お作法』　〈年中後半から〉

日本人としての精神的なゆとりを養い、伝統文化に接する喜びを味わうことや、一対一の関係を大切にする中で、落ち着いて物事を理解したり話をじっくり聴いて考えることができるようになることを目的としています。

作法の時間は、楽しく心地よいものと思えるように、月１回、園長宅の和室にお茶の先生をお呼びし、少人数で行っています。なでしこの大きな集団では見落としがちな、普段は大人の手を煩わせない子の小さな声を拾う場としても機能しています。

『ちえのみあそび』　〈年少から〉

個人負担：１回分教材 640 円

子どもが自分で解決しようとする意欲や態度を養うことを目的とした教材を使い、「できた・できない」という結果よりも、課題解決の過程でいろいろな試行錯誤を繰り返し新しいことに気付いたり発見したり、自分の考えで遊びを進めていくことを大切にしています。園では年少児から取り組みそれぞれの年齢にあったペースと量をカリキュラムに組み込み実践しています。

ちえのみあそび（株）幼児発達研究所

『メディアとの付き合い方』

家庭でのテレビ、ビデオ、スマホ、タブレット等の視聴は乳幼児期はなるべく短時間にしましょう。歴史が浅いのでスマホの子どもの心身への影響はまだ学会でも取り上げられてはいませんが、良い影響は少ないと現場では感じています。なでしこでは、保育の中での上記の視聴は一切ありません。クラスでの生活はもちろんのこと、延長保育もすべて保育士や友だちとの人間関係を通しての遊びと生活です。

【入所対象児】年齢　０歳児（生後８週）～未就学児

熊谷市福祉部保育課で保育認定（２号認定・３号認定）を受けたお子さんが入所できる児童福祉施設です。
市外から希望される方は、お住いの市町村にご相談の上申請をしてください。

【保育時間】

保育標準時間認定		保育時間	延長保育時間	備考
平日	なでしこ保育園	７：00～18：00	18：01～19：00（有料）	19 時以降は第三へ移動し 20 時まで延長可能（*）
	第二なでしこ保育園			
	第三なでしこ保育園		18：01～20：00（有料）	
土曜日		７：00～16：00		３園合同保育

保育短時間認定		保育時間	延長保育時間	備考
平日	なでしこ保育園	８：00～17：00 のうちの８時間	１日の保育時間が８時間を超えると延長保育となります（有料）	19 時以降は第三へ移動し 20 時まで延長可能（*）
	第二なでしこ保育園			
	第三なでしこ保育園			20 時まで延長可能
土曜日		８：00～16：00		３園合同保育

（*）園移動の時刻・方法については年度により変わることがあります

保育時間は上記の表の通りです。入園後、保育時間を通勤時間＋勤務時間を基本に「保育時間申請書」を提出していただきます。入園当初は慣らし保育をしますので、状況の許す方は短縮保育で徐々に慣らしていきましょう。通常、正規の保育時間に子どもが慣れるまでには１～２週間かかります。保護者の勤務の都合上、最初から通常保育の必要な方は申し出てください。

【延長保育】

勤務の都合で８時間以内の保育では済まない方の為に延長保育をしますが、お子さんの体力によって難しい場合もありますので、個人的に話し合って決めましょう。尚、延長保育料は 18：01 以降の分を園から集金させていただきます。金額に関してはお問い合わせください。

【園バス】

通常、園バスは朝７：30 ～９：10、帰りは 15：30 ～ 17：00 が送迎の時間ですが、乗降する場所によって時間が異なります。利用希望の方には入園までに詳しい説明をします。2020 年度までは２台で運行し、2021 年度は１台のみで運行、2022 年３月をもってバス運行は終了。卒園まで利用できない場合もありますので、ご理解の程よろしくお願い致します。

【休日・休園・土曜協力日・協力保育】

⑴　休日・休園について
- 日曜、祝日はお休みです
- 12 月 29～１月３日は年末年始休みです
- 日曜、祝日に行事を行った場合は翌日は振替休日になります
- 入園式の日は、在園児はお休みになります

⑵　土曜日は協力日とさせていただきます

職員の勤務時間を調整する為、土曜保育の必要な方のみ保育いたします。保育希望の方は「土曜保育勤務証明書」を提出していただきます。但し、秋祭り、造形展、保育参観、育児教室等、土曜日に必要に応じて親子での参加行事を行うこともあります。（通園用のバスは運行しません）

⑶　職員の研修や休暇を確保する為、次の期間を協力保育期間として、仕事の都合で保育の必要な方のみ保育します。（日程は年度によって多少ずれがあります）

《協力保育期間》
- ７月下旬に５日程度
- ８月中に 10 日程度
- 12 月 25 日～28 日
- １月４日～７日
- ３月末～４月入園式前日迄

【年間行事予定】

４月　入園式、参観日（懇談会・保護者会総会）
５月　給食参観（講演会）、年長 園外保育、歯科健診
６月　年中 ジャガイモ掘り、年中・年長親子遠足、内科健診
７月　年長 お泊り保育・うどん作り、年中 保育参観
８月　七夕祭り、年長　保育参観、二十歳の同窓会
９月　祖父母参観、運動会（10 月の場合もあり）
10 月　年少 芋掘り、年少 親子遠足、年長　相撲大会
11 月　年少 お芋クッキング、秋祭り
12 月　生活発表会・クリスマス会
１月　１年生同窓会、年中・長 遊ぼう会、６年生同窓会
２月　節分・造形展・年長 卒園遠足、観劇、保育参観・大掃除（第一・第三）
３月　お別れ会、演奏会（専門家による歌や楽器のコンサート）、保育参観・大掃除（第二）、卒園式

＊　秋祭り・造形展・生活発表会の行事はほとんど土曜日に行っています。

一年に一度「一日保育士体験」に参加していただきます。

☆ひとクラス一日ひとり枠

☆朝９時～夕方４時まで

☆保育士補助として子どもと過ごす

※感染症等の影響により行事が変更になる場合があります

【集金】

個別に集金しているものは概ね以下の通りです

・保護者会費　　・月間絵本代
・主食費、副食費　　・教育費（年少以上）
・バス代（利用者のみ）　　・その他

～教育費って？～

年少以上になると、保育士では補いきれない専門性を外部講師の先生方にお手伝いいただいています。その外部講師料と材料費、備品維持管理費等を皆様から徴収させていただいています。

年少：500 円/月
年中・年長：1,000 円/月

※実施状況により金額を変更する場合もあります

～運動会保護者参加あれこれ～

毎年、卒園後も安心して小学校へ行けるよう地域ごとのグループを作り、運動会で「年長保護者交流むかで競争」を行っています。それぞれのグループで準備を進めます。その中で交流を深め、お家の方が小学校の友達を作って卒園することが一番の目的です。

～卒園してもなでしこの子～

１年生は毎年１月の土曜日に保育士（元担任）・在園児（年長）と楽しい時間を過ごします。

６年生でも１月又は２月の土曜日に同窓会を行います。そこで皆でカレーを作って食べたり、タイムカプセルを作ります。それを二十歳の同窓会で開けます。担任も大きく成長した卒園児たちに会えるのを楽しみにしています。

～保護者会から後援会へ～

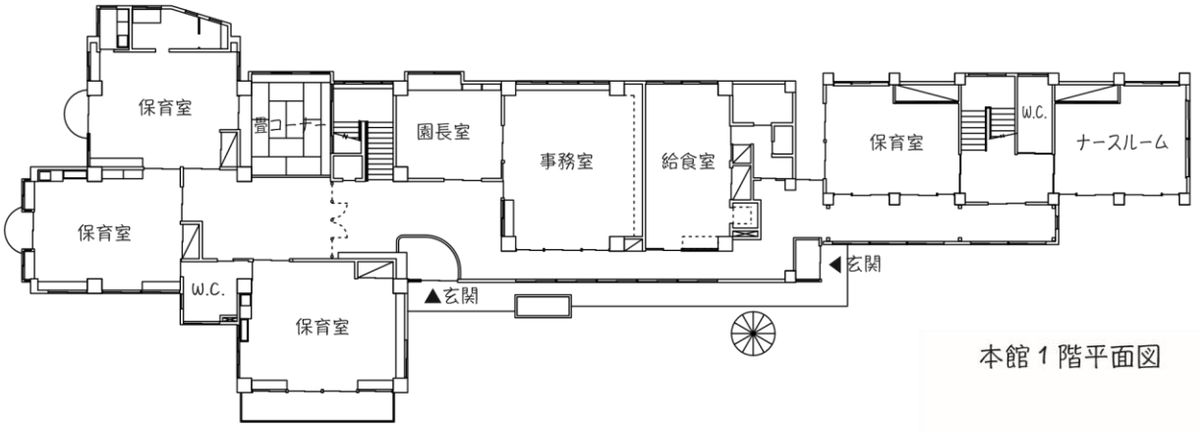
保護者による３園合同の保護者会を設置し、様々にご支援をいただいております。そんな保護者の皆様も卒園と同時にさよならではありません。希望の方は後援会という組織で引き続きご活躍いただいています。

保育園は子どもだけが楽しむ場所ではありません。お父さん、お母さんの一生の友との出会いの場でもあると考えています。

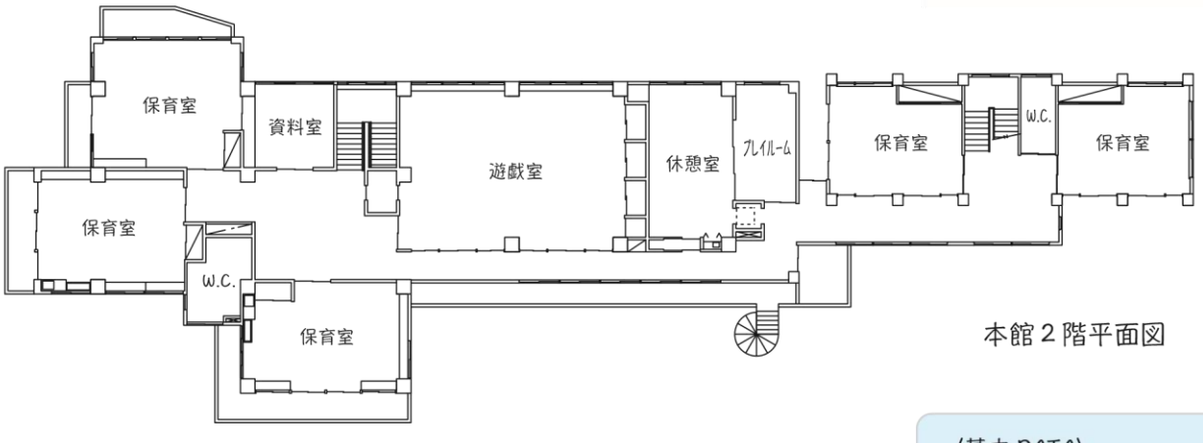
なでしこ文庫

母の友

なでしこ保育園

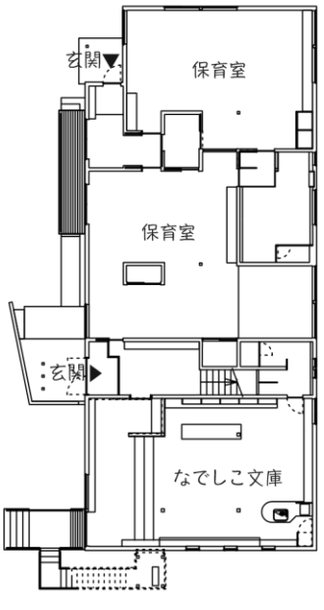


本館１階平面図

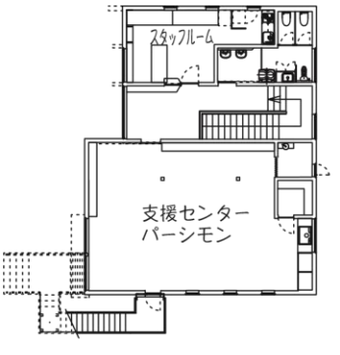


本館２階平面図

〈基本 DATA〉
定員：150 名
敷地面積：2,328.46 ㎡
床面積：本館合計 1071.60 ㎡
パーシモン合計　414.04 ㎡
事業内容：保育所
地域子育て支援拠点
放課後等ディサービス

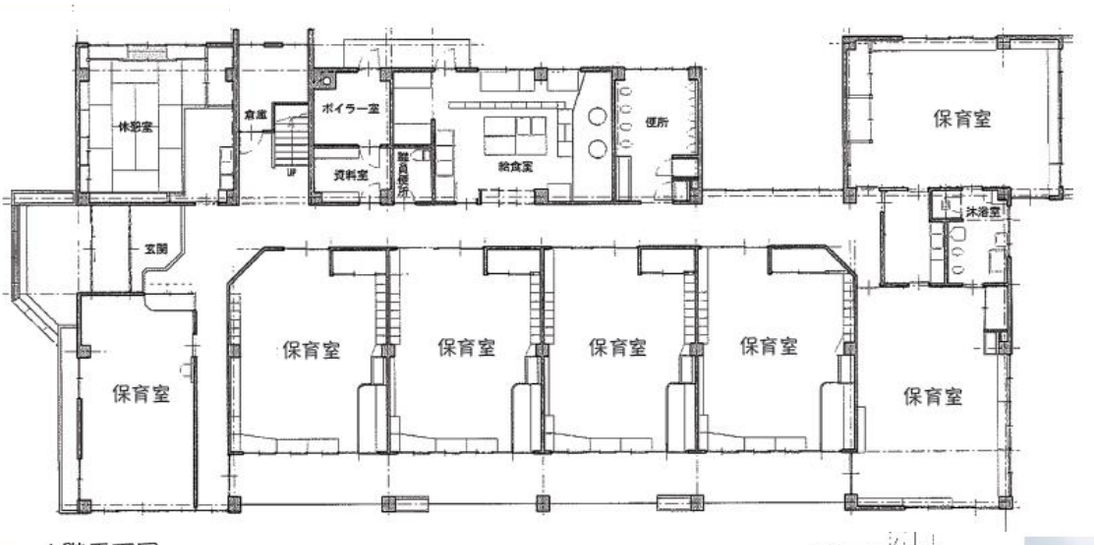


パーシモン１階平面図

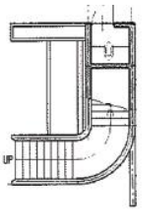


パーシモン２階平面図

第二なでしこ保育園

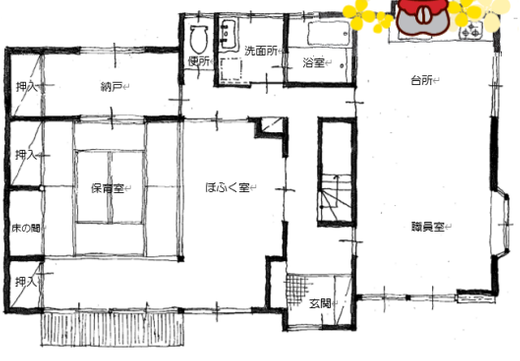


1階平面図



2階平面図

〈基本 DATA〉
定員：150 名
敷地面積：2854.64 ㎡
のべ床面積：870.30 ㎡
事業内容：保育所
家庭保育室連携施設

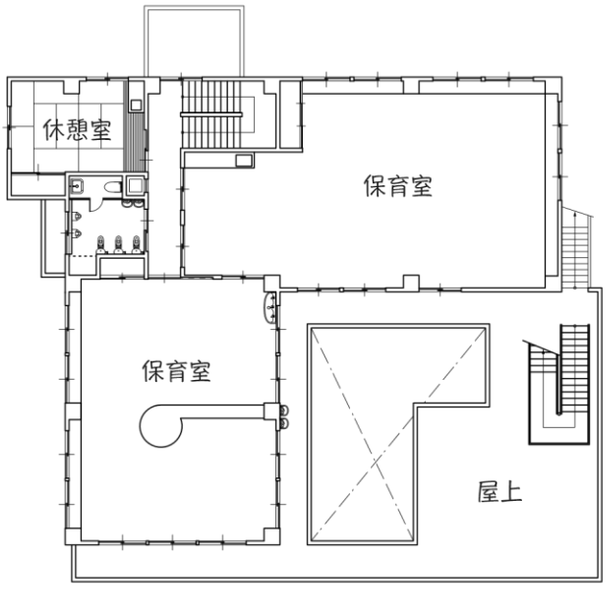


なでしこ家庭保育室わらべ
なでしこ保育園・第二なでしこ保育園が連携施設となっています

第三なでしこ保育園

〈基本 DATA〉
定員：60 名
敷地面積：511.52 ㎡
のべ床面積：719.52 ㎡
北運動場面積：796.30 ㎡
事業内容：保育所・一時預かり保育
地域子育て支援拠点
利用者支援事業

1 階平面図



2 階平面図

3 階平面図

〔注意〕 3 園それぞれの平面図は同じスケールではないので、違う園の部屋の大きさを図面上で比べることはできません

裏の運動場は道路を挟んだ北側です